

2019年度

Webクリエイター科
講義計画集

— 第2学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2019年度 (平成31年度) 年間計画表 2W

2019.2.18現在

		前 期							後 期																					
		5月		6月		7月			8月			9月		10月			11月		12月			1月		2月		3月				
1	卒業式・カイダックス 卒業対象生健診	1 水	天皇の即位の日	1 土	月12回	1 木		1 日		1 火	火4回	1 金	金8回 ひらえは船橋	1 日	B校(シヨブバス)	1 水	元日	1 土	1 日											
2	卒業対象生健診	2 木	国民の休日	2 日	火12回	2 金		2 月		2 水	水4回	2 土		2 月	月9回	2 木		2 日	2 月											
3	新入生 オリエンテーション	3 金	憲法記念日	3 月	水11回	3 土		3 火		3 木	木4回	3 日	文化の日	3 火	火11回	3 金		3 月	月15回											
4	入学式	4 土	みどりの日	4 火	木12回	4 日		4 水	部 合動 同	4 木	金4回	4 月	振替休日	4 水	水12回	4 土		4 火	後 火16回 期 試											
5		5 日	こどもの日	5 水	金12回	5 月		5 木	部 合動 同	5 土	水4回	5 火	火7回	5 水	木13回	5 日		5 火	水17回											
6		6 月	振替休日	6 木	木8回	6 火		6 金	部 合動 同	6 土	水3回	6 水	水8回	6 木	金13回	6 月		6 水	木17回											
7		7 火	火4回	7 金	B校(シヨブバス)	7 水		7 土		7 日	月3回	7 木	木9回	7 金		7 火		7 土	追試											
8	前期スタート 月1回	8 水	月曜(振替)4回	8 土	月13回	8 木		8 日		8 火	火5回	8 金	金9回 漢字検定 ひらえは船橋予備	8 月	午前免除試験	8 水	新年度スタート 水14回	8 土												
9	火1回	9 木	木4回	9 日	火13回	9 金		9 月	後期スタート 月1回	9 火	水5回	9 土		9 月	月10回	9 日	月曜(振替)11回	9 日	秘書検定											
10	水1回	10 金	金4回	10 月	水12回	10 土		10 火		10 水	木5回	10 日	秘書検定 色彩検定	10 火	火12回	10 金	金14回	10 月												
11	木1回	11 土		11 火	木13回	11 日		11 水	山の日	11 木	金5回	11 月		11 水	水13回	11 土		11 火	建国記念の日											
12	金1回	12 日		12 水	金13回	12 月		12 木	振替休日	12 金	土	12 火		12 水	火8回	12 土		12 日												
13	土1回	13 月	月5回	13 土		13 火		13 日	受 付	13 月	水9回	13 火		13 水	水9回	13 土		13 日												
14	日1回	14 火	火5回	14 金	金14回	14 土		14 日	業 務 停 止	14 月	体育の日	14 火		14 水	木10回	14 土		14 日												
15	月2回	15 水	水4回	15 土	海の日	15 日		15 月	務 停 止	15 火	火6回	15 金	金10回 J校B校-一般CBT	15 水	木10回	15 土		15 日												
16	火2回	16 木	木5回	16 日	火14回	16 金		16 月		16 火	水6回	16 土		16 水	水6回	16 日		16 月	月曜(振替)12回											
17	水2回	17 金	金5回 J校B校-一般CBT	17 土	水13回	17 日		17 月		17 火	木6回	17 火	日商簿記	17 水	金15回 漢字検定 J校B校-一般CBT	17 土		17 日												
18	木2回	18 土		18 日	木14回	18 月		18 火		18 水	金6回	18 土		18 日	木14回	18 月		18 火												
19	金2回	19 日		19 月	金14回 J校B校-一般CBT	19 火		19 水		19 木	木9回	19 金		19 土	火9回	19 日		19 月												
20	土1回	20 月	月6回	20 火	木10回	20 日		20 月		20 火	国家試験	20 水		20 火	水10回	20 土		20 月	卒業生成績発表会											
21	日1回	21 火	火6回	21 水	金10回 米内定着ガイダンス	21 日		21 月		21 火	月4回	21 水		21 土	木11回	21 日		21 月	卒業生成績発表											
22	月3回	22 水	水5回	22 木	月14回	22 金		22 日		22 月	即位礼正殿の儀	22 火		22 水	金11回	22 土		22 日												
23	火3回	23 木	木6回	23 日	火15回	23 月		23 火		23 水	水7回	23 土	就職米内定着 三者面談	23 木	木15回	23 日		23 月	日商簿記											
24	水3回	24 金	金6回 米内定着ガイダンス	24 月	水14回	24 火		24 水		24 木	木7回	24 金		24 火	金16回	24 土		24 日	振替休日											
25	木3回 1W研修合宿 2Wは就活	25 土		25 日	木15回	25 月		25 火		25 水	金7回	25 土		25 木	木16回	25 日		25 月												
26	金3回 1W研修合宿 2Wは就活	26 日		26 月	金15回	26 火		26 水		26 木	土	26 金		26 火	火10回	26 土		26 日	午前免除試験											
27	土1回	27 月	月7回	27 火	木11回	27 水		27 木	再試験発表	27 金	金3回	27 土		27 日	水11回	27 月		27 火												
28	日1回	28 火	火7回	28 水	金11回 J校B校-一般CBT	28 日		28 月		28 火	若幸祭	28 水		28 木	木12回	28 土		28 日		再試験発表										
29	月1回	29 水	水6回	29 木	月15回	29 金		29 火		29 水	若幸祭振替休日	29 土		29 日	金12回	29 月		29 火	水16回											
30	火1回	30 木	木7回	30 日	水15回 水曜(振替)15回	30 月		30 火		30 水	月曜(振替)5回	30 土	ビジネス文書	30 日	木16回	30 月		30 火												
31		31 金	金7回		土	31 日		31 月		31 火	木8回			31 水	木17回	31 土		31 日												

※年間講義回数
月 30回
火 31回
水 32回
木 32回
金 32回

Webクリエイター科2学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
2019年度教育目標と検定スケジュール	6
グラフィックソフト演習応用	松本 沙耶	7
卒業制作	上原 尚子、松木 栄一、 松本 紗耶	8
Webサイト構築演習	上原 尚子	9
動画制作演習応用	松木 栄一	10
Webデザイン特論Ⅰ・Ⅱ	三浦 敦史	11
Webアプリケーション演習応用Ⅰ・Ⅱ	松木 栄一	13
DTP応用	松本 沙耶	15
CG・キャラクターデザイン演習	松本 沙耶	16
プレゼンテーション演習	上原 尚子	17
Office演習応用Ⅰ・Ⅱ	上原 尚子	18
就職講座A応用	遠藤 幹雄	20
社会人基礎力演習応用Ⅰ・Ⅱ	上原 尚子	21
就職講座B応用Ⅰ・Ⅱ	上原 尚子	23

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡してできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいます。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

2019年度 教育目標と検定スケジュール

Webクリエイター科

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデザインツール(Illustrator、Photoshop、Dreamweaver、Premiere・AfterEffects)の習得 Web制作に必要なスクリーンショット言語であるJavaScript、PHPを学ぶ ビジネス社会に必要な知識やプレゼンテーション能力の養成 ポートフォリオ(作品集)の制作を通してWeb業界で活躍できる技術力を磨く
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> サーティーファイ Webクリエイター能力認定試験 HTML5 (スタンダード・エキスパート) 文部科学省後援 色彩検定 (2級・3級) DTP検定 (Ⅱ種・Ⅲ種) MOS (Excel・Word・Access) 文部科学省後援 情報検定(J検) 活用 (2級・3級)、情報デザイン (初級・上級) 文部科学省後援 ジョブパス (2級・3級) 日本漢字能力検定 (漢検) (2級・準2級・3級)
進級条件(の資格)	<ul style="list-style-type: none"> J検(活用3級、情報デザイン初級) + 漢検3級 + ジョブパス3級 + MOS (Excel) デジタルハリウッド課題 (グラフィック、Web制作、動画制作) の修了
卒業条件(の資格)	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオ (作品集)、卒業制作提出

《基本方針》

1. Web制作やDTP(出版)に必要なデジタルデザイン技術の習得
2. 情報処理技術やJavaScript、PHPなどのプログラミングを理解する
3. 社会人に必要なビジネス能力、コミュニケーション能力を身につける

1年次:

- ・Illustrator、Photoshop、Dreamweaverをマスターする
- ・動画編集ソフト(Premiere、AfterEffects)を用いて動画制作を行う
- ・デジタルハリウッドへの課題提出とプロの添削指導によりデザイン力を磨く
また、各種コンテストにも積極的に参加し、実力をつける
- ・Officeソフト(Excel、Word、Access)を学び、MOS(Excel)やDTP検定を目指す
- ・JavaScriptを学ぶことによりWebアプリケーションを理解する
- ・J検、ジョブパス、漢検、MOS(Excel)の資格を取得する

2年次:

- ・ポートフォリオ(作品集)制作に力を入れ、技術力を高めて就職活動を行う
- ・DTP、jQuery(JavaScript)、PHP言語を習得し、将来の仕事の幅を広げる
- ・プレゼンテーション能力を養い、卒業制作の発表を行う
- ・CG・キャラクターデザインを学ぶ事に技術の幅を広げる

★は必須資格

1 学年

2 学年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 Webクリエイター能力認定試験 スタンダード・エキスパート							→	☆	スタンダード				
2 文部科学省後援 色彩検定				→	☆	3級							
3 DTP検定 (随時)													☆ Ⅲ種
4 MOS Excel (随時)				→	☆								
5 J検情報 活用3級 情報デザイン 初級			→	☆	活用3級								☆ 情報デザイン初級
6 ジョブパス 3級			→	☆	3級								
7 漢検 3級・準2級・2級		→	☆	3級									☆
8 デジハリ課題提出① [グラフィック]		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
9 デジハリ課題提出② [Web制作]				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
10 デジハリ課題提出③ [動画制作]													→
11 ポートフォリオ・卒業制作													→ (就職活動用作品制作)
													→ 卒業制作

科目	グラフィックソフト演習応用	分類	専門科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)			
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	80%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

Illustrator、Photoshopを使い、オリジナル作品を制作する。

2. 授業の目標(検定取得など)

就職活動で使うためのポートフォリオの質の向上、技術力の向上のためにもレベルの高い作品を作る。

3. 注意点・要望

添削指導後の再提出や、コンテストなどに各自積極的に取り組むこと。

4. 関連科目

卒業制作

週	テーマ	内容
1	Illustrator課題制作	Illustratorを使用した色彩構成
2	Photoshop課題制作	Photoshopを使用したコラージュ作品の作成
3	Illustrator課題制作	Illustratorを使用し、限られた条件下でのロゴの作成
4	Illustrator課題制作	Illustratorを使用し、限られた条件下でのロゴの作成
5	Illustrator課題制作	Illustratorを使用したロゴの作成(応用)
6	Illustrator課題制作	Illustratorを使用したロゴの作成(応用)
7	Illustrator課題制作	Illustratorを使用したロゴの作成(応用)
8	Photoshop、Illustrator課題制作	Photoshop、Illustratorを駆使し、商業デザインを意識した作成
9	Photoshop、Illustrator課題制作	Photoshop、Illustratorを駆使し、商業デザインを意識した作成
10	Photoshop、Illustrator課題制作	Photoshop、Illustratorを駆使し、商業デザインを意識した作成
11	Photoshop、Illustrator課題制作	Photoshop、Illustratorを駆使し、商業デザインを意識した作成
12	卒業制作準備期間	卒業制作に向けてグラフィックを作成する
13	卒業制作準備期間	卒業制作に向けてグラフィックを作成する
14	卒業制作準備期間	卒業制作に向けてグラフィックを作成する
15	前期試験期間	

備考

各種グラフィック・デザイナー業務、コンテスト実績をもとに授業を行う

科目	卒業制作	分類	専門科目
担当	上原 尚子、松木 栄一、松本 紗耶、寺原 美由紀		
テキスト (出版社)			
参考資料	配付資料、各科目テキスト類		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	12
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

グループでWeb制作のワークフローをふまえて、Webサイトを構築する

2. 授業の目標(検定取得など)

Webサイトの企画から卒業制作の発表ができるようになる

3. 注意点・要望

グループでの作業となります。「報連相」をしっかりと行い円滑なコミュニケーションを心掛けてください。

4. 関連科目

Webデザイン特論、Web制作ソフト演習、グラフィックソフト演習応用、Webアプリケーション応用など全科目

週	テーマ	内容
1	Web制作のワークフロー	スケジュールの確定
2	Webサイト設計 1	コンセプト(ターゲットユーザー)
3	Webサイト設計 2	サイトマップ
4	Webサイト設計 3	ユーザビリティ、アクセシビリティ
5	Webサイト設計 4	プロトタイプ作成
6	Webサイト設計 5	ワイヤーフレーム作成
7	コンテンツ作成 1	文書、画像、動画などの準備
8	マークアップ 1	HTML、CSS、jQueryなどによるマークアップ
9	マークアップ 2	〃
10	マークアップ 3	〃
11	マークアップ 4	〃
12	マークアップ 5	モバイルサイト
13	マークアップ 6	〃
14	ユーザーテスト	評価表の作成、ユーザーテスト、修正
15	卒業制作プレゼンテーション準備	グループごとにリハーサル、資料作成など
16	卒業制作プレゼンテーション	
17	後期試験期間	

備考

科目	Webサイト構築演習	分類	専門科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)	すべての人に知っておいてほしい jQuery & jQuery Mobileの基本原則 (MdN)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

1年次に学んだHTML、CSSの知識を深め、jQueryによるWeb制作のプランニングからデザイン、システム構築までを学ぶ。さらにレスポンシブWebデザインを学習しスマートフォンやタブレット端末にも対応できるWebデザインを学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

jQuery、レスポンシブWebデザインを習得し、後期の卒業制作に活用できるようにする。

3. 注意点・要望

就職活動で欠席した場合にも必ず課題提出を行うこと。

4. 関連科目

Webデザイン特論、Webアプリケーション演習

週	テーマ	内容
1	jQueryとは、基本的な使い方	セレクタ、イベント処理、フォーム
2	jQueryの実装 1	ロールオーバー
3	jQueryの実装 2	固定メニュー
4	jQueryの実装 3	ウインクロールオーバー
5	jQueryの実装 4	アコーディオンメニュー
6	jQueryの実装 5	カルーセルパネル
7	レスポンシブWebデザイン 1	メディアクエリとViewportの設定
8	レスポンシブWebデザイン 2	ブレイクポイントの設定
9	レスポンシブWebデザイン 3	ヘッダー要素、サイドバーの書式指定
10	レスポンシブWebデザイン 4	グリッドシステムとレスポンシブWebデザイン
11	ポートフォリオページの作成 1	jQueryを使用したポートフォリオページ作成
12	ポートフォリオページの作成 2	jQueryを使用したポートフォリオページ作成
13	卒業制作準備 1	Web制作の流れ、コーディングガイドライン作成
14	卒業制作準備 2	ポートフォリオサイト作成
15	前期試験期間	

備考

科目	動画制作演習応用	分類	専門科目
担当	松木 栄一		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	Web等		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%		

1. 授業の概要

動画の基礎と制作法、Webに於ける利用法の学習。

2. 授業の目標(検定取得など)

画像・音声・映像に関する知識を基礎から理解し、利用の場面に応じ最適化されたコンテンツ制作を行える技術を習得する。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入	授業解説 環境説明 操作練習
2	Webと動画	映像に関する基礎知識 Webに於ける動画の利用形態と各種映像形式の特徴
3	画像と音声	画像・音声に関する基礎知識と各種画像・音声形式の特徴
4	HTML5	動画に関するページ要素とWebプログラミング
5	ノンリニア編集	基本的な動画編集アプリケーションについて
6	Adobe Premiere演習	アプリケーション演習
7	映像の加工	ビデオ加工アプリケーションとその用途
8	Adobe After Effects演習	アプリケーション演習
9	インタラクティブ動画	オーサリングソフトウェアとその用途
10	Adobe Animate演習	アプリケーション演習
11	動画とプログラム	リアルタイムアニメーションについて
12	様々な動画	2Dと3D VR等について
13	ネットワークと動画	ネットインフラの基礎知識と動画との関係
14	Intellectual Property	知的所有権と動画 関連法と技術
15	総括	復習とまとめ Webの現状と今後

備考

科目	Webデザイン特論 I	分類	専門科目
担当	三浦 敦史		
テキスト (出版社)			
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	40%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

マーケティング、制作工程分析、調査・分析、SEO、アクセシビリティなどを、演習を交えながら学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

1年で学んだWeb制作の技術を、さらにブラッシュアップする

3. 注意点・要望

4. 関連科目

Webサイト構築演習、Webアプリケーション演習応用

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	年間予定、Web制作に必要な知識、仮設検証：適切な答えを選択するための条件を考える
2	工程分析(作業分解図と工程管理)	工程分析：作業工程を分析して作業順序を考える
3	分析・調査方法とフレームワーク	SWOT分析：2つの対象を比較して強みと弱みを考える
4	ターゲット設定とユーザー行動の分析	カスタマージャーニーマップ／ユーザーの行動と行動に伴う感情変化を考える
5	HTML5コーディング(1)	HTML5の特徴を利用したロールオーバー効果
6	HTML5コーディング(2)	JavaScriptを利用しない画像ポップアップ表示
7	HTML5コーディング(3)	文章構造を考えたコーディング
8	HTML5コーディング(4)	Microdataを利用した文脈の意味の詳細化
9	HTML5コーディング(5)	link要素の利用方法
10	HTML5コーディング(6)	video要素を利用した動画再生
11	HTML5コーディング(7)	canvas要素を利用した図形描画とアニメーション
12	CSSレイアウト(1)	attr関数と疑似要素を利用した表示
13	CSSレイアウト(2)	calc属性と数値計算
14	CSSレイアウト(3)	Flexboxを利用したレイアウト作成
15	前期試験期間	

備考

デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる

Webクリエイター科	2年
------------	----

【後期】

科目	Webデザイン特論Ⅱ	分類	専門科目
担当	三浦 敦史		
テキスト (出版社)			
参考資料	授業でのスライド資料		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	40%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
HTML5マークアップ、レスポンシブレイアウト、CSSによるアニメーション表現などを演習も交えて学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
学んだ技術を卒業制作に活かす
3. 注意点・要望
授業に取り組む姿勢、演習課題により評価をします。
4. 関連科目
Webサイト構築演習、Webアプリケーション演習応用

週	テーマ	内容
1	レスポンシブウェブデザイン(1)	レスポンシブウェブデザインの基礎知識、領域に合わせて伸縮する画像の指定
2	レスポンシブウェブデザイン(2)	メディアクエリーを利用したレイアウト作成
3	レスポンシブウェブデザイン(3)	CSS Gridを利用したレイアウト作成
4	レスポンシブウェブデザイン(4)	パララックスを利用したレイアウト作成
5	スムーズスクロール	JavaScriptによるスムーズスクロール効果の作成
6	卒業制作 中間発表	input要素を利用したイベントとタブパネルの作成
7	CSSで利用できるイベント	input要素を利用したイベントとタブパネルの作成
8	画面解像度と表示サイズの関係	画面解像度に合わせて画像の振り分け方
9	背景のグラデーション	CSSによるグラデーション背景
10	CSSアニメーション	CSSアニメーション表現と効果の作成
11	HTML5フォームの機能	フォームのマークアップとバリデーション
12	Webデザインのトレンド(1)	ブローキンググリッドレイアウトの作成
13	Webデザインのトレンド(2)	ChromeDevToolsを利用したパフォーマンス検証
14	卒業制作講評	
15	後期試験期間	
16		
17		

備考	デジタルハリウッド講師、またWebディレクション、制作技術支援、企画開発コンサルティング業務などに携わる
----	--

科目	Webアプリケーション演習応用 I	分類	専門科目
担当	松木 栄一		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	Web等		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	50%	0%	0%	0%	100%		

1. 授業の概要

PHPを中心とした、サーバーサイドスクリプティングの学習。

2. 授業の目標(検定取得など)

学習を通じて基本的なクライアント/サーバーの連携を体験し、Webアプリケーションの仕組みを理解する。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入	授業・環境解説と操作説明・練習 クライアントサイド技術の再確認
2	Webサーバー	Webの仕組みとWebサーバーの動作 サーバーサイドスクリプト解説
3	PHP基礎	PHPの基本文法、演習と解説
4	データの送受信	フォーム詳細 HTTPについて
5	Webページ作成演習	課題演習と解説
6	データの加工と保存	データ表現と加工 保存場所とその利用法
7	Webページ作成演習	課題演習と解説
8	セッション管理	セッション管理とその手法
9	セキュアプログラミング	サニタイジングと暗号化
10	Webプログラム作成演習	課題演習と解説
11	Asynchronous JavaScript + XML	Ajax解説
12	Webアプリケーション	Webアプリケーションに関わる諸知識
13	Webアプリ作成演習	課題演習と解説
14	Webアプリ作成演習	課題演習と解説
15	前期期末試験	効果測定

備考

科目	Webアプリケーション演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	松木 栄一		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	Web等		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	50%	0%	0%	0%	100%		

1. 授業の概要

Webアプリケーションの開発演習。

2. 授業の目標(検定取得など)

これまでの学習を通して身に付けた技術を活用し、自ら考案・設計した簡単なWebアプリケーションの開発を目指す。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入	授業解説 演習準備
2	Webアプリケーション	Webアプリケーションの形態と活用事例
3	設計演習	要求定義と計画
4	設計演習	論理設計
5	設計演習	論理設計
6	設計演習	物理設計
7	設計演習	検討と調整
8	開発演習	開発準備 環境構築
9	開発演習	開発作業
10	開発演習	開発作業
11	開発演習	開発作業
12	開発演習	開発作業
13	開発演習	開発作業
14	成果発表	成果物発表会
15	成果発表	成果物発表会
16	総括	振り返りとまとめ、応用と発展の為の指針
17	後期試験期間	効果測定

備考

科目	DTP応用	分類	専門科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	新詳説DTP基礎[改訂四版](エムディエヌコーポレーション)		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	30%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

印刷についての知識と技術を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

DTPとは何か理解し、適切な印刷データを作成できるようになる。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	色の基本	印刷データに適した色の扱いについて
2	色の基本	印刷データに適した色の扱いについて
3	組版、レイアウトについて	多ページものを作成する場合の基本について
4	DTPソフト演習	DTPソフトの使用方法・実習
5	DTPソフト演習	DTPソフトの使用方法・実習
6	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した片面～両面の1枚ものの課題を作成
7	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した片面～両面の1枚ものの課題を作成
8	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した片面～両面の1枚ものの課題を作成
9	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
10	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
11	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
12	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
13	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
14	DTP作品制作	実際に印刷される事を想定した冊子課題を作成する
15	後期試験期間	

備考

科目	CG・キャラクターデザイン演習	分類	専門科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)			
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	80%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

日常に根付いている『キャラクター』。キャラクターとは何の為にあるのかを学び、作成する。

2. 授業の目標(検定取得など)

『デザインツールとしてのキャラクター』を描画できるようになる。

3. 注意点・要望

自己満足ではなく、客観的なクオリティの高さをめざすこと。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	キャラクターとは何か	キャラクターの歴史、役割と目的
2	キャラクター設計1	テーマを持ったデザイン設計
3	気持ちを伝えるデザイン	喜怒哀楽、シーンを伝えるために
4	キャラクター設計2	三面図を描画する
5	キャラクター設計3	キャラクターの展開
6	2DCGデザイン	2DCGソフトを使用した描画
7	2DCGデザイン	2DCGソフトを使用した描画
8	2DCGデザイン	立体的な描画
9	2DCGデザイン	立体的な描画
10	ポーズ・表情デザイン	魅力を伝えるポーズ、構図を考える
11	目的と意図を伝える設計	対称ターゲットに、意図、目的を伝える設計
12	目的と意図を伝える造形	2DCGソフトを使用し、対称ターゲットに、意図、目的を伝えるための描画を行う
13	目的と意図を伝える造形	2DCGソフトを使用し、対称ターゲットに、意図、目的を伝えるための描画を行う
14	目的と意図を伝える造形	2DCGソフトを使用し、対称ターゲットに、意図、目的を伝えるための描画を行う
15	目的と意図を伝える造形	2DCGソフトを使用し、対称ターゲットに、意図、目的を伝えるための描画を行う
16	目的と意図を伝える造形	2DCGソフトを使用し、対称ターゲットに、意図、目的を伝えるための描画を行う
17	後期試験期間	

備考

コンテスト実績・業務実績をふまえ授業を行う

科目	プレゼンテーション演習	分類	専門科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)	30時間アカデミック プレゼンテーション+PowerPoint2013 (実教出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

プレゼンテーションソフトPowerPointの基本機能を学び、スライドを作成する。また、プレゼンテーションの練習を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

プレゼンテーションソフトPowerPoint機能の習得とプレゼンテーションを練習し、就職活動での面接試験に活かす。

3. 注意点・要望

Office応用演習、卒業制作

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの目的と実際
2	視覚資料の作成 1	視覚化のポイント、文字情報のフレーズ化
3	視覚資料の作成 2	図解、グラフによる視覚化
4	視覚資料の作成 3	表による図解化、カラー化、映像化
5	スライドの作成 1	PowerPointの画面構成、基本操作、表示モード
6	スライドの作成 2	SmartArtグラフィックの活用、スライドショーの実行
7	プレゼンテーション資料の印刷	ヘッダーとフッターの追加
8	効果的なスライド作成 1	配色の設定、クリップアート、SmartArtの色の変更
9	効果的なスライド作成 2	Excelグラフの挿入、アニメーションの設定
10	「自己紹介」プレゼンテーション作成 1	プレゼンテーションの構成、視覚資料の作成
11	「自己紹介」プレゼンテーション作成 2	言語表現と非言語表現
12	「自己紹介」プレゼンテーション実施 1	話し方、身だしなみ、アイコンタクトのチェック
13	「自己紹介」プレゼンテーション実施 2	〃
14	「自己紹介」プレゼンテーション実施 3	〃
15	前期試験期間	

備考

科目	Office演習応用 I	分類	専門科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)	Word 2016 マスター演習テキスト 基礎編 (ムゲンダイ出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	40%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

Word機能の習得および様々なビジネス文書について理解する。

2. 授業の目標(検定取得など)

授業で学んだビジネス文書作成の技術を就職活動や卒業制作の資料作成で活用する。

3. 注意点・要望

課題提出および授業内の小テストで評価する。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	Wordの基本操作	Wordの画面構成、文書表示モード、文字の入力
2	文書の新規作成	文書作成の手順、ページレイアウトの設定、文章の入力、文書の保存
3	文字書式の設定	フォントサイズ、フォント、スタイル、均等割り付け
4	段落書式の設定	文字の配置、行間・段落間隔の設定、インデント、箇条書きと段落番号
5	復習問題	文字書式、段落書式
6	グラフィックスの利用 1	ワードアートの挿入と編集
7	グラフィックスの利用 2	図形描画の基本、クリップアート
8	復習問題	グラフィックス
9	表の作成 1	表の挿入、行や列の挿入と削除、列幅・行高の変更
10	表の作成 2	セルの分割と結合、表のスタイル、セル内の文字と表の配置
11	ビジネス文書演習 1	社内文書
12	ビジネス文書演習 2	社外文書
13	ビジネス文書演習 3	はがき
14	ビジネス文書演習 4	宛名ラベル
15	前期試験期間	

備考

科目	Office演習応用Ⅱ	分類	専門科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)	Access 2013 テキスト 基礎編 (ムゲンダイ出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	40%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

データベースソフトAccessの基礎学習を行い簡単なデータベースを作成する。

2. 授業の目標(検定取得など)

Webアプリケーションと密接な関係にあるデータベースについて理解する

3. 注意点・要望

課題提出および授業内の小テストで評価する。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	データベースとは	リレーショナルデータベースの概要、Accessの機能
2	Accessの基本操作	Accessの起動、画面構成、オブジェクトの機能
3	テーブル 1	テーブルの概要、テーブルの作成、データシートの編集
4	テーブル 2	フィールドプロパティの設定、Excelデータ・CSVファイルのインポート
5	クエリ 1	クエリの概要、選択クエリの作成、並べ替え
6	クエリ 2	抽出条件の設定、パラメータクエリ、演算フィールド
7	練習問題1	テーブル、クエリの復習
8	フォーム 1	フォームの概要、フォームの作成と編集
9	フォーム 2	データ入力、コントロールプロパティ、コンボボックス
10	レポート 1	レポートの概要、レポートの作成、デザインビュー
11	レポート 2	レイアウト変更、並べ替え、宛名ラベルウィザード
12	練習問題2	フォーム、レポートの復習
13	リレーションシップ	自動結合と手動結合
14	確認テスト	テーブル、クエリ、フォーム、レポート、リレーションシップ
15	総合問題 1	メニュー画面作成
16	総合問題 2	マクロ
17	後期試験期間	

備考

科目	就職講座A応用	分類	教養科目
担当	遠藤 幹雄		
テキスト (出版社)			
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	80%	0%	0%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

採用試験に合格できるよう、実践的な対策を行うと共に、社会人として必要な敬語やマナーについて学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

自律と自立に向けて、就職へのモチベーションを保ち、採用試験に合格できる力をつける。また、社会人として必要な、敬語やマナーを身に着ける。

3. 注意点・要望

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	電話のかけ方	言葉遣いと電話のマナー演習
2	封筒の書き方	実践敬語1、封筒の書き方
3	履歴書の書き方	実践敬語2、志望動機の事例
4	自己紹介・自己PR	実践敬語3、自己PRの事例
5	SPI非言語問題のコツ1	実践敬語4、SPI非言語問題のコツ1
6	SPI非言語問題のコツ2	実践敬語5、SPI非言語問題のコツ2
7	SPI非言語問題のコツ3	実践敬語6、SPI非言語問題のコツ3
8	内定者アンケートから	社会人マナー1、内定をもらえた最大の理由など
9	一般常識1	社会人マナー2、一般常識1
10	一般常識2	社会人マナー3、一般常識2
11	一般常識3	社会人マナー4、一般常識3
12	一般常識4	社会人マナー5、一般常識4
13	本音で語る人事担当者	社会人マナー6、本音で語る人事担当者
14	新入社員の心構え	新入社員の心構え
15	前期試験期間	効果測定

備考

36年の社会人経験と3年の就職指導経験のある教員が、その経験に基づいて、実践的な就職活動の指導を行い、また社会人として必要な敬語やマナーについても指導する。

科目	社会人基礎力演習応用 I	分類	教養科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)			
参考資料	社会人基礎力講座 第2版 (日経BP社) ※1年次使用テキスト		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

1年次で学んだ社会人基礎力をさらに高め、就職活動で実践する

2. 授業の目標(検定取得など)

社会人として必要な知識を身につける

3. 注意点・要望

4. 関連科目

就職講座A、就職講座B、プレゼンテーション演習

週	テーマ	内容
1	社会人としての心構え	なぜ働くのか
2	人生設計とキャリアデザイン	具体的な目指すキャリアを考える
3	企業研究	経営理念・ビジョン、行動指針、組織体制
4	社会人の基礎知識(1)	挨拶と言葉遣い
5	社会人の基礎知識(2)	身だしなみ
6	社会人の基礎知識(3)	基本マナー
7	社会人の基礎知識(4)	報連相
8	社会人の基礎知識(5)	メール
9	社会人の基礎知識(6)	ビジネス文書
10	社会人の基礎知識(7)	電話
11	社会人の基礎知識(8)	面談
12	社会人の基礎知識(9)	プレゼンテーション
13	社会人の基礎知識(10)	情報活用とICTツール
14	社会人基礎知識 まとめ	レポート作成
15	前期試験期間	

備考

科目	社会人基礎力演習応用Ⅱ	分類	教養科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)			
参考資料	社会人基礎力講座 第2版 (日経BP社) ※1年次使用テキスト		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

1年次で学んだ社会人基礎力をさらに高め、学園祭運営やチームで行う卒業制作の授業で実践する

2. 授業の目標(検定取得など)

チームで協力して学園祭を成功させる

3. 注意点・要望

4. 関連科目

卒業制作

週	テーマ	内容
1	前に踏み出す力	主体性、働きかけ力、実行力
2	考え抜く力	課題発見力、計画力、創造力
3	チームで働く力(1)	発信力、傾聴力
4	チームで働く力(2)	柔軟性、状況把握力
5	チームで働く力(3)	規律性、ストレスコントロール力
6	チームで働く力(4) 実践	学園祭企画
7	チームで働く力(5) 実践	学園祭運営
8	チームで働く力(6) 実践	学園祭運営の振り返り
9	社会人の基礎能力(1)	前に踏み出す力: やる気ってなんだ?
10	社会人の基礎能力(2)	考え抜く力: 課題発見の着眼点
11	社会人の基礎能力(3)	計画的に仕事を進める: プロセスの明確化
12	社会人の基礎能力(4)	創造力: ブレインストーミング
13	社会人の基礎能力(5)	多様な人々と協力する
14	社会人の基礎能力(6)	組織のルールを守る
15	社会人の基礎能力(7)	ストレス対処法
16	社会人の基礎能力 まとめ	レポート作成
17	後期試験期間	

備考

科目	就職講座B応用 I	分類	選択科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)			
参考資料	就職筆記試験対策問題集 一般常識・SPI編 (ムゲンダイ出版) ※1年次使用テキスト		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

「就職講座A応用」と連動し、主に就職活動に必要な筆記試験対策、面接対策を行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

企業からの内定をいただく。

3. 注意点・要望

出席点で評価します。

4. 関連科目

就職講座A応用

週	テーマ	内容
1	エントリー	エントリーの確認と今後の方針
2	企業(職種)研究	就活サイト(Worket、FindJob、はたらいくなど)
3	履歴書	履歴書の内容確認
4	自己PR	自己PRの強化
5	ポートフォリオ、企業エントリー	ポートフォリオ更新、エントリー中企業の受験対策
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	〃
9	〃	〃
10	面接練習	面接内容の強化
11	〃	〃
12	〃	〃
13	職種の再確認	学内求人への活用
14	今後の就職活動について	現状の活動状況確認と今後の方針
15	前期試験期間	

備考

科目	就職講座B応用Ⅱ	分類	選択科目
担当	上原 尚子		
テキスト (出版社)			
参考資料	就職筆記試験対策問題集 一般常識・SPI編 (ムゲンダイ出版) ※1年次使用テキスト		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	50%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

会社および職種を研究し、エントリーする。さらに提出書類の作成、筆記試験対策、面接対策などを行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

企業からの内定をいただく。

3. 注意点・要望

就職指導室での活動も積極的に行ってください。

4. 関連科目

就職講座A応用

週	テーマ	内容
1	就職活動の強化	提出書類、筆記試験対策、面接の強化練習 (随時個別面談)
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃	〃
9	〃	〃
10	〃	〃
11	〃	〃
12	〃	〃
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	〃
17	後期試験期間	

備考

